

ご厚志をありがとうございました

稲川八重子 様	鎌田幸江 様	金久保啓子 様	神谷正一 様	川田春子 様	石原節代 様
大澤充 様	永跡 照子 様	市岡純子 様	天野ハル子 様	秋元新太郎 様	飯嶋洋 様
根岸保夫 様	高橋明子 様	岡田英二夫 様	関根達夫 様	近藤佳代子 様	佐藤義雄 様
星野隆一 様	深町明弘 様	坂井靖久 様	大塚俊治 様	板垣弘道 様	田野政雄 様
細田等 様	堀口初男 様	林ふじ子 様	坂本洋子 様	長澤和子 様	西端哲雄 様
堀口幸男 様	持田順子 様	原口貞治 様	中村満枝 様	中澤真希 様	中野恵子 様
山田ゆかり 様	森谷邦子 様	深作孝 様	中村芳子 様	宮田敬一郎 様	若林浩文 様
吉田良子 様	矢木田千代子 様	橋本操 様	橋本秀光 様	小坪章水 様	増野和明 様
山口邦夫 様	若杉秀則 様	福田美佐江 様	神庭光雄 様	木附久江 様	根岸文子 様
足利ガス 様	埼玉日産(株) 様	浦和大学 様	明和学園短期大学 様	聖セシリア短期大学 様	
菊屋 様	大沢防災 様	太陽設計 様	埼玉森林病院 様	ヒューマンネット 様	
茄子のとも 様	(株)ケージーエム 様	明治神宮崇敬会 様	環境工学研究所 様	国際学院埼玉短期大学 様	
ヒグチ電機 様	カイゴテック 様	西武リース 様	武蔵野短期大学 様	東毛給食センター 様	
荒川青果 様	岡村自動車 様	東京家政大学 様	NPO法人 彩花 様	ケア・クロスくつろぎ 様	
葵の園 様		松本自動車 様	あいおいニッセイ同和損保 様		

寮内レク大会開催！
(けやき寮)



新型コロナウイルスの影響で、けやき寮でも様々な面で大打撃を受けています。リネンの生産作業は、ホテルの稼働が落ちている為減少。行事は、いちご狩りや日帰り旅行が中止。加えて休日の外出自粛や暑い作業場内でのマスク着用など…。そこで利用者さんのストレス解消も兼ねて、寮内レク大会を開催しました。内容は、運動レク、カラオケ、頭の体操(間違い探し)等です。密にならない様に少人数でローテーションする方法や、換気、消毒を徹底しました。運動レク

では、ストラックアウトやグループ対抗のお玉リレー等で結果を競い合い、カラオケは、得点機能を活用して大盛り上がりでした。

間違い探しでは、2つの絵を見比べて違いを探すプリントを配布し、静かな部屋で集中して行い、終了後には見つけられた結果を発表しました。

皆さん、それぞれの得意分野で本領発揮して楽しんでいらっしゃいました。

そしておやつは、いつもより豪華なかき氷とパンケーキです。かき氷は、フルーツやあんこをのせて、パンケーキにはアイスや生クリームをトッピングして、思い思い自分好みのデザートを作り楽しみました。

今後もこの様な形式が続くと思われます。私たち支援員は、利用者さんに楽しんでいただけるよう内容の工夫に取り組みますので、利用者の皆さんもコロナに負けずに頑張りましょう。(風間)

社会福祉法人 むさしの郷

事業所一覧

http://www.musasinogou.com

むさしの郷

検索

□ 障がい者支援施設 ながい寮・法人本部

〒 360 - 0125 埼玉県熊谷市上恩田514-2

TEL 048-598-7007

FAX 048-598-7008

E-mail honbu@musasinogou.com

【施設入所支援 生活介護 ショートステイ】

□ 障がい者支援施設 むさしの青年寮

〒 355 - 0008 埼玉県東松山市大谷4730

TEL 0493-39-1895

FAX 0493-39-1380

E-mail seinen@musasinogou.com

【施設入所支援 生活介護 ショートステイ 日中一時支援】

□ 障がい福祉サービス事業所 けやき寮

〒 360 - 0211 埼玉県熊谷市善ヶ島3310-1

TEL 048-588-1358

FAX 048-588-8830

E-mail keyaki@musasinogou.com

【就労継続支援B型】

□ 共同生活援助事業 未来ホーム(グループホーム)

〒 360 - 0203 埼玉県熊谷市弥藤吾578-18

【東方ホーム、福嶋ホーム、コスモスホーム、未来ホーム、一路ホーム】

むさしの

社会福祉法人 むさしの郷

〒360-0125 埼玉県熊谷市上恩田 514-2

TEL048-598-7007

【mail】honbu@musasinogou.com

【web】http://www.musasinogou.com



「コロナ禍の中で」

～ けやき寮 管理者 川上 大介 ～

まずは感染対応に尽力されている医療機関をはじめ関係各所の皆様に対し、心から感謝申し上げます。

私どもの施設はリネン類の洗濯を請け負っておりますが、外出自粛が求められるなか、ホテル関係の受注量は 5 割どころか 7 割を切るほど落ち込んでおります。ご承知の通り工場には直接費と間接費があり、稼働率によって削減するにも限度はあります。先行きが見えない中で、日頃より技術指導を始め、様々な場面で御厚情を賜っている受注先の「栄久」様に時期をわきまえない値上げのお願いに伺い、ふと工場を見渡せば、いつも忙しく働いている方々の姿も例年の活気には及びません。

そんな状況でも「長い付き合いだから」と快く応えて下さった上に、「仕事が減って利用者さんも寂しいだろうから、何か探しておくよ」と気遣いまで頂ける。また資材購入ではマスクや消毒薬等が品薄となっておりますが、担当者さんが自身の割当分を使い優先的に納入して下さい、保護者の方や職員も自身の時間と費用を費やし、手作りマスクを何十枚と寄贈して下さいました。

改めて、コロナ禍のなか施設活動ができてるのは先人達の地域に根差した運営が形になって表れたものと感謝す

ると共に、様々な場面で施設を支えて下さる方々の御厚情に報いられるよう、施設の有存在意義に疑問を抱かせない活動を利用者様と共に心掛けて参りたいと思っております。

制度的な事を申せば、就労系施設は利用者さんへ支給した平均工賃で翌年の運営費が決まるので、支援費の流用は認められません。しかしながら、やむを得ない場合は自立支援給付費を充てることが可能との通知を頂きました。

自助努力を棚に上げて云わせて頂けば、限りある施設運営費を流用することは、感染拡大に配慮しながら額に汗する職員の身分保障を損なう可能性もあります。問題が生じれば「支援費で工賃を」これでは利用者様の年金を工賃として支給しているのと大差なく、現状の福祉的就労の位置づけに疑問を禁じ得ません。

ソーシャルディスタンスの確保や外出自粛で利用者さんが楽しみにしている施設旅行は勿論、帰省や日々の買物さえ憚れる現状。ストレスが蓄積し、通常問題にならない事柄がトラブルになることもあります。環境の変化に順応するのが不得手な彼らの思いを汲取り、受止め、対応する職員と共に、心からの笑顔を取り戻せるよう地域社会の一員として取り組んで参らねばと思っておりますので、今後とも変わらぬ御厚情をお願い申し上げます。

「めざす」と「すごす」

(むさしの青年寮 主任 大岡 真弓)

先日出席した会議の中で「見守り」って私達にとってとても都合の良い言葉にもなる。「見守り」が、利用者をただ見ているだけになってはいないか考えてみて欲しい。」という話が施設長からありました。会議後、「見守り」とは何か考え直してみたいと思いました。私が読んだ文献の中に、

見守り支援の役割は、

①利用者が、身体介助や家事援助が必要になった場合に
対応出来るようにする待機時間としての見守り、

②利用者を危険な状態から回避する為の見守り、

③一緒に会話をするなどのコミュニケーションとしての
見守り、の 3 つが挙げられており、“見守り支援とは、身体
介助や家事援助に当てはまらない、良好な人間関係の中で
利用者と一緒に「すごす」時間」と記載されていました。

こうした見守りによって、利用者は安心して寝る、起き
る、食べる、トイレ、入浴、日中活動などの日常生活を送
ることができるとのこと。支援をする中で、「利用者に身体
介助や家事支援を受け入れて貰いたい」、「大きな問題を起
こさないで欲しい」と思うことは誰もが抱く感情ではない
でしょうか？できる、できないを視点とした「めざす」関
わりを求めようとしても「すごす」ことから始めないと
何も生まれない、ということも書かれていました。福祉の
仕事に就いて 1 9 年目となり、経験の積み重ねによって、
業務を円滑に進めることに苦勞を感じることは少なくな
りました。

今回、「見守り支援」について改めて考えることで、「め
ざす」関わりばかりを利用者さんに押し付けていないだろ
うか？一緒に「すごす」ことを大切にしているだろうか？
この方とは良好な関わりが築けているとおごってはいない
だろうか？と思い直すことが出来ました。そして、利用者
の皆さんに安心感を持って貰えるような職員でありたいと
思います。その為に改めて、共に「すごす」時間を大切に
していきたいと思います。



＜ステイホームの中で出来る事＞ながい寮

8 月 2 7 日に夏祭りを行いました。昨今の新型コロナウイルス
流行の影響を受け、恒例の盆踊りを始め、輪投げや模擬屋台など
“感染予防の観点から実現が難しい内容”が行えない現状に対し、ど
のような形にすれば楽しんで頂けるだろうか、と幾度も話し合い
を重ね「女性の利用者さんには化粧の代わりに髪飾りでおめかし
して頂くのはどうだろうか？」、「スクリーンに体感型ゲームを
投影して、密接しないように遊ぶのはどうだろうか？」、「マス
クをカラフルな物にしてみてもは？」など“こんなときだからこそ”
の精神で計画していきました。

そして当日、午前の部はゲーム大会から幕を開けました。Wii の
ちゃんばらゲームと卓球ゲームを活用し、トーナメント戦を行う
と「〇〇がんばれー！」「負けるなー！」と応援や歓声が沸き、
さながら運動会のような盛り上がり。続く“箱の中身はなんだろうな
ゲーム”では、箱に入ったヘビのおもちゃに驚く様子を見て笑いが
起きました。

昼食も“こんなときだからこそ”の豪華な海鮮ちらし寿司と具だ
くさん茶碗蒸し、すまし汁にスイカと、満腹メニューを皆さん美
味しそうに食べている姿がとても印象的でした。

全員お腹いっぱいでも挑む午後の部は、感染対策としてステージ
前にビニールカーテンを設置。利用者さんと一緒に歌や踊りを楽
しむことは出来ませんが、その中で精一杯楽しんで頂けるような
コンサートを目指しました。名付けて『KOD (上恩田) 歌謡祭！』。
過去の職員バンドの選り抜き映像や、職員扮する有名 CM のパロ
ディスクリーン上映も挟みつつ、ステージパフォーマンスを鑑賞
し、終始笑いの絶えない時間を過ごしました。

自粛生活が終息する兆しは未だありませんが、利用者さん一人
ひとりの暮らしが、より楽しく明るいものになるように私たち職
員は努力すべきなのだな、と利用者さんの笑顔から仕事のやりが
いを再確認出来ました。（遠藤）

『4 年を迎えて』

（けやき寮 支援員 池本 拓未）

けやき寮の仕事に携わり今年で 4 年になりました。
福祉の仕事に対して中学時代に興味を持ち、その気
持ちを 10 年後も持っていた事で前職の仕事をしながら
ネットを探し、けやき寮を見つけた事がこの職を選
んだきっかけでした。興味があったものの初めての業
種だったのでとても戸惑っていたと記憶しています。

最初は「とにかく早く利用者さんの名前を覚える事」
で皆さんとのコミュニケーションをとても意識して
いました。就労支援 B 型のけやき寮ですが、リネン作
業のサポート以上に関わりを持つ事を重んじていた
様な気がします。

しばらくして作業面でも利用者さんから教わる事
や、作業を通して見えてくるそれぞれの特性にとても
驚き、刺激を受けました。

今では皆さんが声をかけてくれて、良く笑い、責任
を持って「仕事をする」という姿を目にきて、自
分の中にあった様々な概念が変わっていった事を感
じており、利用者の方には日々新しい発見をさせても
らっています。

入職後暫くして施設長から「今までやってきた事を
“慣れ”と捉えず “経験”と捉えてください。」とお
っしゃっていた事があり、今でもそのお言葉が残って
います。入職してから様々な経験をさせてもらいま
したが、振り返って見ると私はまだ力不足で上司の方や
先輩に助けられています。

これからも利用者さんの為にお力添え頂く事も多
いと思いますが、私自身も利用者さんの安全、生活
を守る職員としてより一層精進していきたいと思いま
す。



＜夏祭り＞ むさしの青年寮

8/29(土)むさしのの青年寮で毎年恒例の夏祭りを行
いました。しかし今年度の夏祭りは新型コロナウイルス
の影響で例年通りとはいかず、利用者さんに集まって
もらい楽しく騒いだり歌ったりとする事が出来ませ
ん。夏祭りを担当する自治会や職員会議でどうすれば
利用者さんに楽しんでもらう事が出来るのか？幾度
となく話し合いを行いました。

そこで決まったのが各ファミリーで夏祭りを演出
して過ごす「分散型夏祭り」です。いかに例年以上に
楽しんでもらえるかを考え、「各ファミリー職員が装
飾などで演出」、「出張ゲーム大会」、「食堂に夏祭
りを感じてもらえる装飾をする」などの準備を行いま
した。

「各ファミリーが夏祭りを演出」というテーマのも
と、浴衣を着て楽しむ女性利用者さんが居たり、職員
と利用者さんが一緒になって飾りつけを行ったり、フ
ァミリーそれぞれの色を見ることが出来、大きな収穫
となる夏祭りになりました。

「出張ゲーム大会」では職員と利用者さんが一緒
になってゲームを楽しむ姿も見られ、「出来ない理由を
見つけるのではなく、出来る理由を見つけよう！」と
強く思った夏の思い出となりました。（前中）